

NOSAKA
construction

CSR REPORT 2018

野坂建設株式会社

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3-6-9
TEL:0120-947-570

<http://www.nosakakensetsu.co.jp>

野坂建設株式会社



野坂建設CSRレポート2018

INDEX [目次]

- P02 目次 / 編集方針 / 沿革
- P03 企業コンセプト / 会社概要
- P04 トップメッセージ
- P05 事業紹介
- P09 CSRビジョン・CSR方針
- P11 KPI
- P13 重点1:やさしくつつくしい「自然」を守る
- P15 マテリアルバランス
- P17 重点2:やさしくつつくしい「住まい」を創る
- P19 重点3:やさしくつつくしい「人」を育む
- P21 重点4:やさしくつつくしい「繋が」りを深める

EDITORIAL POLICY [編集方針]

- [報告対象組織]
野坂建設株式会社
- [報告対象期間]
2016年6月～2018年5月(※一部対象期間外を含む)
- [発行時期]
2018年8月
- [参考ガイドライン]
環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
- [お問合せ先]
野坂建設株式会社 / 担当: 渡邊
〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号
TEL: 0120-947-570 (フリーダイヤル)
FAX: 093-701-5266
E-Mail: info@nosakakensetsu.co.jp

HISTORY [沿革]

- 1971年 7月 ○ 野坂建設設立
- 1972年 4月 ○ 野坂建設有限会社へ資本金100万円にて組織変更、野坂作次就任
- 1985年 3月 ○ 代表取締役 野坂時夫就任
- 1990年 3月 ○ 野坂建設株式会社へ組織変更、資本金3,000万円に増資
- 1999年 2月 ○ 資本金4,000万円に増資
- 2002年 12月 ○ リサイクルセンター「ゆめ環境」設置
- 2005年 9月 ○ 国土交通省 平成17年度 地域における中小・中堅建設業の新分野進出促進モデル構築支援事業選定
- 2006年 1月 ○ 岩国バイオマス発電所に発電用燃料としてチップを納品
- 2006年 5月 ○ 「ゆめ育土」福岡県リサイクル製品として認定
- 2007年 8月 ○ 代表取締役 野坂輝和就任
- 2008年 10月 ○ 3R推進協議会 平成20年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
「河川敷等の維持管理で発生する刈草のマテリアルリサイクル」で会長賞受賞
- 2013年 3月 ○ エコアクション21認証登録
- 2014年 6月 ○ 本社を移転
住宅事業部「夢空間」開始
- 2014年 10月 ○ 3R推進協議会 平成26年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
「地域で発生する木くずリサイクルの実施」で会長賞受賞
- 2015年 10月 ○ 優良性評価制度基準適合(福岡県・処分業)
- 2016年 8月 ○ ゆめ環境 事務所リニューアル
- 2017年 1月 ○ モデルハウス「カレッジ」オープン(水巻町緑ヶ丘)
- 2017年 3月 ○ エコアクション21 対象範囲拡大で認証取得(水巻支店追加)
- 2017年 4月 ○ 宅地建物取引業開始
- 2018年 11月 ○ 発電利用に供する木質バイオマスの証明に関わる事業者認定 取得

GENTLENESS, BEAUTY, THANKS...
CREATE THE FUTURE
NOSAKA CONSTRUCTION



CORPORATE CONCEPT

企業理念

このまちのくらしを
もっとやさしく、うつくしく。

たおやかな川の流れと緑の風。自然と人が共生するこのまちで半世紀。
私たちは地域と共に営みを続けてきました。

くらしの基本である家を建てる。
草木をリサイクルして肥料やエネルギーに変える。
野菜や果物を育てて収穫する。

毎日の生活に寄り添って、
こうした良好な循環を広げることが私たち野坂建設の使命です。

まちの人々の笑顔のために、
愛すべきこのふるさとをもっとやさしく、うつくしく。

人と地域をめぐる「ありがとう」がよりよい未来を創ります。

[会社概要]

【商号】野坂建設株式会社

【代表者】野坂 輝和

【設立】1972年

【資本金】4,000万円

【従業員数】14名

【所在地】本社

福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号

水巻支店

福岡県遠賀郡水巻町水巻2丁目1番13号

ゆめ環境

福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712-45

【許認可】

・建設業許可 福岡県知事(特-24)第25063号(土木・とび土工・舗装・水道布設工事業)
福岡県知事(般-24)第25068号(建築工事業)

(建築工事業)

・産業廃棄物処分業(福岡県/第4020058381号)

・産業廃棄物処理施設設置(福岡県/第608号)

・産業廃棄物収集運搬業(福岡県/第04000058381号)

・一般廃棄物処理業(遠賀中間地広域行政事務組合/第4号)

・一般廃棄物処理施設設置(福岡県/第79号)

・肥料販売業務(福岡県/第2160号)

・特殊肥料生産業者(福岡県/4920号)

・宅地建物取引業者(福岡県知事(1)第18362号)

【加盟団体】

一般社団法人JBN・全国工務店協会北部九州工務ネットワーク、特定非営利活動法人 日本樹木リサイクル協会、

NPO法人 九州環境カウンセラー協会、公益社団法人 福岡県産業廃棄物協会、

一般社団法人 倫理研究所 福岡県倫理法人会、公益社団法人 若松法人会、水巻町商工会

TOP MESSAGE

代表ご挨拶



野坂建設株式会社 / 代表取締役 野坂 輝和

野坂建設をCSRで成長させる。

2018年6月より、当社は第46期を迎えました。長年、野坂建設があり続けていることも、遠賀川を中心とした愛すべきこの街の皆様に支えていただいているおかげだと、深く感謝いたします。

当社のCSR(企業の社会的責任)は、この街の今と未来のために、野坂建設が果たすべき役割は何かを常に問い、計画を立て、実行していくことです。その計画は2つの側面から考えています。まず一つ目は、事業活動を行うことで発生する影響に対応することです。当社は、住宅事業、環境事業、地域事業の3つの柱で事業展開を行っており、この事業活動に伴い発生する影響を、経済・環境・社会の3方面から捉え、分析し、対応していく活動を行っています。2つ目は、経営戦略としての側面です。企業経営の羅針盤の一つとしてCSRを捉えており、毎年策定する経営方針の中にCSRの観点を

盛り込み、部署目標や個人目標にも反映しております。

野坂建設を育む大切な考え方であるCSRは、社員一丸となって取り組んでいます。その結果をまとめたものが、この「CSRレポート2018」です。是非ご一読いただき、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

私たちは、「このまちのくらしをもっとやさしく、うつくしく。」をコンセプトに、すべての活動を行っています。今までは、当社で出来ることを全うすることに力をいれておりました。これからは、それだけでなく、皆様とのパートナーシップを強化し、協働することでこの地域の良いところが更に進化できるよう、尽力して参ります。

ステークホルダーの皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

住宅事業
Housing Business

あたたかいくらしの礎にこだわる

毎日の生活を支える住まい。その住まいを構成する素材や空間づくりなどひとつひとつにこだわり、ライフスタイルの実現をサポートします。

健康自然派住宅

接着剤等が多く使われた住まいは、長い時間をかけて住空間に化学物質を放出し続けます。そうした住まいづくりを根本から見直し、住む人が真に安らげる住まいを実現するのが、私たちの目指す健康自然派住宅です。



■セルロース断熱
パルプを原料とする紙製品を再利用して作られた断熱材です。専用の装置を使い隙間なく充填され、より高い断熱性能のほか、防音や防火、結露の防止等にもつながります。



■天然素材の壁
化学物質を多く使うクロスは使わず、風化した珊瑚を使用した「琉球漆喰」で仕上げます。臭いや湿気の吸着除去効果やマイナスイオンの発生効果が注目される天然の壁材です。



■制震装置
わずか1mmの揺れから働く木造住宅用制震装置です。自動車用ショックアブソーバーの技術を住宅に活かすことで、快適な住み心地が実現できます。製造：ビルシュタイン社



■無垢材フローリング
足の裏に心地よく、少々傷も味わいになっていく天然木の無垢材のフローリング。木種により様々な表情が楽しめます。



■防蟻防腐用木炭塗料
ミクロに砕いた木炭に、自然由来のシロアリを寄せ付けない木質素材を配合して開発された木材用木炭塗料です。基礎や床下に塗布することで住まいを守ります。



住宅事業
Housing Business

注文住宅完成までの流れ



リフォーム・リノベーション

住まいは暮らし続けるとライフスタイルの変化で使い勝手がわるくなったり痛みや不具合が生じてくるものです。例えば省エネ設備への更新やバリアフリー化、ペットの住みやすい建材への更新など、私たちはちょっとした住まいに関するご相談も承っております。

■リフォーム・リノベーション 施工箇所事例

1 トイレ	2 洗面所
3 キッチン	4 外構
5 お風呂	6 デッキ
7 駐車場	8 バリアフリー
9 耐震	10 外壁塗装
11 間取り変更	12 断熱

■内装リノベーション事例(壁・天井)



■住宅事業に関わる有資格

建築士(1級・2級)	建築施工管理技士(1級・2級)	土木施工管理技士(1級)	排水設備責任技術者
防蟻防腐施工認定施工者	測量士補	福岡県被災宅地危険度判定士	福岡県被災建築物危険度判定士
宅地建物取引士	木住協・リフォーム診断員	既存住宅状況調査技術者	損害保険募集人一般試験基礎単位
木造ハウジングコーディネーター	増改築相談員	宅地建物取引士	インテリアコーディネーター



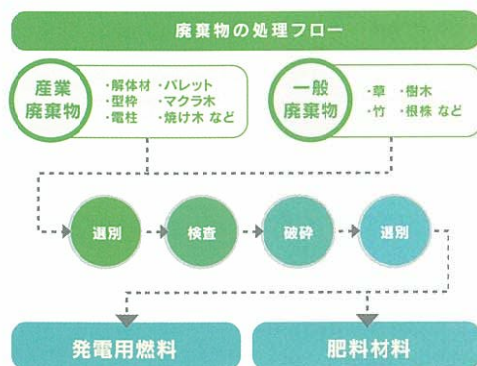
環境事業
Environmental Business

新たな製品に生まれ変わる

暮らしのなかで必ず発生する廃棄物。私たちはその廃棄物をリサイクルし、地域の暮らしを支える製品づくりをしています。

○ 廃棄物処理サービス

道路や河川保全で発生した草木や建物解体等で発生した木材等の収集運搬およびリサイクル処理を行っています。当社にて資源として活用できるよう選別・破碎を行い、バイオマス発電用の燃料もしくは堆肥の原料に生まれ変わります。リサイクル率は100%です。



許可情報

産業廃棄物処分業 (福岡県/第4020038381号) 【許可品目】木くず 【処分方法】破碎(移動式含む) 【処理能力】353.6t/日(4インチ口型スクリーン使用)
一般廃棄物処分業 (遠賀中間広域行政事務組合/第4号) 【種別】 剪定枝、伐採材、草、竹、根株の処分 ※再資源化を目的とした破碎処理に限る
産業廃棄物収集運搬業 (福岡県/第04000358381号) 【許可品目】 廃プラスチック類、金属くず、紙くず、ガラスくず等、 木くず、がれき類



○ 樹木伐採・解体サービス

庭や道路脇、河川沿いなどの樹木伐採や、建物等の解体・撤去も行っております。伐採した樹木等は当社施設でリサイクル処理し、その他のモノは協賛会社で適正に処分を行い、皆様の次なる暮らしを創造します。



地域事業
Community Project

やさしい地域を創造するために

野坂建設も地域市民の一人です。
遠賀川流域のこの地域ならではのやさしさのあふれるまちづくりを目指しています。

○ 農産物栽培・販売

水巻町の特産品である「水巻のでかにんにく」を栽培しております。このにんにくは一般的なにんにくの約5倍もの大きさで、水分が多くジューシーな味わいと匂いが少ないことが特徴です。無農薬栽培で地元と連携し約2500坪の畑栽培しております。また、畑の一部では、土壌改良材による生産実証試験地として、産学民共同研究も行っております。でかにんにくを使った加工品もあり、水巻町にある「夢工房」にてお買い求めいただけます。



※研究名「微細葉類を用いた土壌改良材による高付加価値でかにんにくの生産実証試験」(統括責任研究者:東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授 江口 文隆) ※収穫時期に合わせ、7月~10月に販売しております。



○ 堆肥化事業

当社にて処理を行っている一般廃棄物を活用し、土壌改良材「ゆめ育土」を生産しております。遠賀川河川敷の除草作業や造園業の樹木伐採工事から排出された草や樹木を使用し、化学薬品を使わない地球に優しい、安心安全100%リサイクル商品です。また、地域インフラの維持管理に関わるような土木・造成工事も行っており、地域の基盤づくりも行っております。



CSRビジョン・CSR方針

地域のプラットフォームになる。

健康自然派住宅がベースとなり、自然との調和が保たれている。また、生活のなかで出る廃棄物は地域でリサイクルされ、農業やエネルギーなど様々な形で地域に還元される。





このようなやさしく、うつくしくらしを送ることができる持続可能な地域を3つの側面から支える存在となれるよう、事業活動及びCSR活動を推進していきます。



当社が思い描く「持続可能な社会の姿」を体現したイメージ図です。3つの事業を核としてそれぞれがサイクルすることで循環型の地域づくりへと貢献します。

KPI Key Performance Indicator

[評価内容] ◎: 目標達成 (120%以上) ○: 目標達成 (100%以上) △: 取組実施・目標未達 ×: 取組未実施

重点項目	分類	KPI	対象範囲	取組内容	平成28年度 目標	平成28年度 結果	評価	平成29年度 目標	平成29年度 結果	評価	平成30年度 目標	平成31年度 目標	平成32年度 目標
 <p>やさしく うつくしい 自然を守る</p>	CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	事務所 現場	①未使用時の電気消灯の徹底 ②設備電気不要時の負荷遮断 ③節電シール等の表示 ④設備のアイドルリング ⑤残業時間の削減検討 ⑥昼休みの消灯 ⑦LED照明の導入	平成27年度 実績の 1%削減	32%削減	◎	平成28年度 実績の 1%削減	23%増	△	平成29年度 実績の 1%削減	平成30年度 実績の 1%削減	平成31年度 実績の 1%削減
		燃料使用量 (ガソリン・軽油) の削減	【ガソリン】 事務所	①アイドルリングストップの徹底 ②「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ③重機の定期検査 ④破碎作業の効率的実施 ⑤破碎機稼働後の清掃	平成27年度 実績の 1%削減	29%削減	◎	平成28年度 実績の 1%削減	24%増	△	平成29年度 実績の 1%削減	平成30年度 実績の 1%削減	平成31年度 実績の 1%削減
			【軽油】 破碎施設現場	①アイドルリングストップの徹底 ②「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ③重機の定期検査 ④破碎作業の効率的実施 ⑤破碎機稼働後の清掃	平成27年度 実績の 1%削減	46%削減	◎	平成28年度 実績の 1%削減	29%増	△	平成29年度 実績の 1%削減	平成30年度 実績の 1%削減	平成31年度 実績の 1%削減
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	事務所	①廃棄物の分別徹底 ②リユース・リサイクル推進活動の展開 ③排出量の秤量管理 ④5S活動の実施	平成25年度 実績の維持	10%削減	◎	平成25年度 実績の維持	38%削減	○	平成25年度 実績の 維持	平成25年度 実績の 維持	平成25年度 実績の 維持
		産業廃棄物(建設廃棄物)再資源化率	現場	①建設廃棄物の分別徹底 ②残材のリユース・リサイクル推進活動の展開	96%維持	100%	◎	100%維持	100%	○	100%維持	100%維持	100%維持
	水資源の確保	水使用量の削減	事務所	①洗浄作業の見直し検討 ②節水コマの取付 ③節水シールの表示 ④中間処理施設の計画的散水	新運用ルール による 基準値設定	設定完了	○	平成28年度 実績の 1%削減	65%増加	△	平成29年度 実績の 1%削減	平成30年度 実績の 1%削減	平成31年度 実績の 1%削減
	グリーン購入の推進	グリーン購入法 適合製品導入品目数	事務所	①5S活動による備品の在庫管理徹底 ②購入予定時の調査検討	基準値の 再設定	26品目	○	30品目	37品目	◎	33品目	36品目	40品目
環境配慮型製品の採用	環境配慮型製品の購入	事務所	①環境配慮型ノベルティの製作 ②環境配慮型製品の購入(H30年度より)	実施継続	未実施	×	実施	未実施	×	実施	実施	実施	
 <p>やさしく うつくしい 住まいを創る</p>	健康自然派住宅の普及	健康自然派住宅 年間建築棟数	住宅事業部	①健康自然派住宅のモデルハウス建築 ②定期イベントによる集客 ③住宅仕様の追求	10棟	4棟	△	4棟	3棟	△	4棟	5棟	6棟
	地域における 住まいの課題解決	お住まいなんでも おまかせ隊 年間出動件数	全体	①HP等メディアでの情報発信 ②チラシ等での情報発信 ③解決できるサービスの幅を広げる活動実施	5件	2件	△	7件	6件	△	-	-	-
		リフォーム・リノベーション 施工件数	住宅事業部	①自然素材リフォームの提案 ②大型リフォームの商品化 ③新規開拓のための集客活動 ④おまかせ隊の出動	-	-	-	-	-	-	見積り200件 /受注160件	平成30年度 維持	平成30年度 維持
安全な施工体制	労働災害発生件数	全体	①日常的なKY活動・ヒヤリハット活動の徹底 ②安全パトロールの実施 ③現場における5S活動実施 ④災害防止対策の立案と防災訓練等の実施 ⑤安全大会の開催	0件	0件	○	0件	0件	○	0件	0件	0件	
 <p>やさしく うつくしい 人を育む</p>	人財開発	人財開発プログラムの整備	全体	①社内外教育への参加奨励 ②資格取得支援の実施 ③評価制度の導入	プログラム 構築	構築完了	○	各種制度の 導入	運用準備	○	プログラム 全体の 運用開始	採用1名	採用1名
	次世代の教育	環境教育実施回数	全体	①小学校での環境教育実施	実施継続	実施	○	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
		職場体験受入/H30年度より/ キャリア形成	環境事業部	①リサイクル部門における中学生職場体験受入 ②中学校においての出張職業講話講師	実施継続	実施	○	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
 <p>やさしく うつくしい 繋がりを深める</p>	ステークホルダー との繋がり	地域ボランティア活動 参加回数	全体	①自社周辺道路の清掃活動実施 ②地域開催活動・イベント等への参加	1回	1回	○	4回	4回	○	4回	4回	4回
		地域との協働件数	全体	①当社拠点を活かしたセミナー等の開催で協働(H29年度迄) ②地域イベントへの協賛や参加実施	1件	2件	◎	2件	2件	○	2件	2件	2件
		ステークホルダー向けイベント実施	全体	①ステークホルダー感謝祭の開催 ②でかになにく収穫祭	実施継続	実施	○	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続



SAVE THE NATURE

やさしくつくしい「自然」を守る

1 省エネ・省資源活動

当社の事業活動を行う上では多くのエネルギーや資源を使用します。必要な量を適正に使用していくために、省エネ・省資源に取り組んでいます。



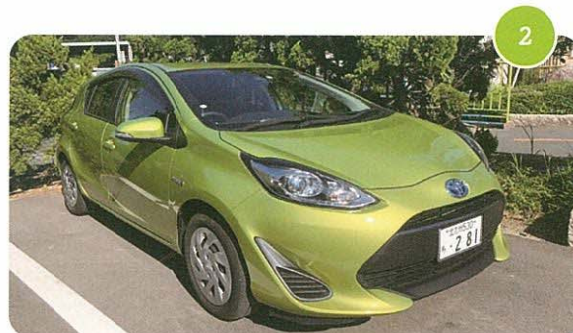
[破砕機の更新]

木くずの破砕機を最新型に更新し、燃費改善に繋がりました。また、破砕作業工程を見直すことで、効率のよい運用から更なる省エネも期待できています。



[事務所のLED照明化]

ゆめ環境の事務所改築に伴い、照明はすべてLED照明にしました。また、より効率のよい配置にも変更し、従来より約40%の照明電気使用量削減に繋がっています。



[社用車をエコカーに更新]

建設事業部で使用している社用車をハイブリット車に更新しました。これにより従来より約2倍の燃費改善が期待できます。



[散水機の導入]

ゆめ環境の破砕作業では、粉じんが発生するため、散水を行いながら実施します。45期にスプリンクラー式の散水機を導入し、少ない水で効果的に散水ができるようになりました。

緑豊かな山々と遠賀川のせせらぎをそのまま後世に渡すために、事業活動および地域における環境負荷の低減と環境配慮技術の向上を追い求めます。

2 リサイクル率100%の維持

当社で行っているのは、木関連の処理です。受け入れた解体木材や木製品、剪定や伐採した植栽や草は、リサイクル方法に合った前処理や破砕を行い、現在はバイオマス発電の燃料としての活用と堆肥原料としての活用を行っています。

木関連の中でも特質や成分によりリサイクルが難しいものもあります。今後はより広範囲かつ効率のよい資源化ができるよう、技術研究やパートナーシップにより実現できるよう、力を入れていきます。



VOICE

リサイクルの起点となり地域に貢献する。

木質系の廃棄物を資源とし、バイオマス発電の燃料や堆肥としてリサイクルしています。全量リサイクルを行うことは、地域に新たな資源

として返すことであり、まさに循環の起点に私たちが関与しています。事業を通じて地域に貢献できるよう、これからも努めていきます。



環境事業部 有本 育(左)
廣戸 大樹(右)

— 環境方針 —

環境理念

私たちは、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

行動指針

1 やさしくつくしい自然を守る。

- ・事業活動に必要な水・エネルギー資源の省力化及び排出される廃棄物抑制
- ・低炭素社会実現の為に木質資源の有効活用の研究開発

2 やさしくつくしい住まいを創る。

- ・自然由来の原料を使用した健康住宅、及びリノベーションの研究と普及
- ・自然共生の暮らし方の研究と普及

3 やさしくつくしい人を育む。

- ・自然との共生と地域環境美化に努める人材の育成
- ・人材を育む職場環境の改善・整備

4 やさしくつくしいつながりを深める。

- ・環境関連の法令順守及びCSR活動の推進と実践
- ・環境啓発イベントの開催と地域ボランティアの参画

マテリアルバランス [44期 / 45期]

※1:廃棄物のデータはマニフェスト数値と自治体から業務委託を受けた廃棄物の数値を合算したものです。(以下は四捨五入しています)
※2:リサイクル率=サーマルリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量(温室効果ガス排出係数は原則として「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて掲載されている情報にて算定しています。)

44期

45期

INPUT

■エネルギー

電気	22058kWh
ガソリン	9682ℓ
軽油	50498ℓ
水	332m ³

■建設資材

生コン	169.6t	再生クラッシャーラン	20.2t
鉄筋	0.0t	再生アスファルト	0.0t
土砂	56.0t	再生粒調碎石	2.0t
碎石	21.6t	コンクリート二次製品	0.0t
石粉	0.8t	木材	60.0t

■受入廃棄物

産業廃棄物	1150.4t
一般廃棄物	4870.1t

■エネルギー

電気	21908kWh
ガソリン	10675ℓ
軽油	55127ℓ
水	542m ³

■建設資材

生コン	671.9t	再生クラッシャーラン	289.1t
鉄筋	2723.2t	再生アスファルト	0.0t
土砂	240.1t	再生粒調碎石	0.0t
碎石	24.8t	コンクリート二次製品	0.0t
石粉	0.0t	木材	2.51t

■受入廃棄物

産業廃棄物	1118.7t
一般廃棄物	4842.4t

住宅事業

環境事業

地域事業



OUTPUT

■CO₂排出量

281.33 t-CO₂

※水とエネルギー起源のCO₂排出量を対象として算定しています。

■住宅関連施工件数

162件

■中間処理後廃棄物 ※1

発電燃料として再生	2384t
堆肥へ再生	3637t

■一般廃棄物排出量

192kg

■製品製造数

でかんにんにく	1.7t
黒にんにく	2000パック

リサイクル率※2 100%

■CO₂排出量

373.82 t-CO₂

※水とエネルギー起源のCO₂排出量を対象として算定しています。

■住宅関連施工件数

164件

■中間処理後廃棄物 ※1

発電燃料として再生	2681t
堆肥へ再生	3280t

■一般廃棄物排出量

145kg

■製品製造数

でかんにんにく	2.5 t
黒にんにく	1700パック

リサイクル率※2 100%



CREATE A HOUSE

やさしく美しい「住まい」を創る

1 モデル住宅仕様の多様化

お客様の住宅に関する要望に寄り添い、ライフスタイルに合った住宅を提供していくために、モデル住宅のラインナップを順次増やしています。

健康自然派住宅建築棟数

7棟 (44~45期)



「夢のマイホーム」という言葉があります。でも本当の夢は、マイホームのもと先にあるのでは？そんなギモンがきっかけで生まれたのが「ROCKY」です。家族と一緒に過ごす「かけがえのない時間」を大切にしているご家族に、穏やかな日常と週末の楽しさを一つの空間で実現します。



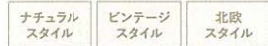
ウッドデッキで
すぐ隣に非日常を

仲間を集めてBBQをしたり、天気の良い休日の朝はテーブルを持ち出して朝食を。非日常が手軽に実現します。



お好みの
内装デザインをチョイス

床・壁・天井と自然素材を使用した内装デザインはお好みで選べます。



暮らしの中に
薪ストーブを

カラダを芯から温めてくれる薪ストーブの揺らめく炎は不思議と心をいやしてくれます。



自然素材の
オリジナル家具

ダイニングテーブルやソファなど、「ROCKY」のテイストにぴったりの自然素材のオリジナル家具もご用意しました。



家事も子育ても、仕事も趣味も…ママのあわただしい毎日の家事が少しでも楽になり、生活のすべてを上手に楽しむことができるように設計した、ママの願いを叶えるモデル住宅です。



ミセスコーナーの
ある暮らし

料理をしている時のふとした空き時間で家計簿や縫い物を…。そんな時に重宝するミセスコーナーはママの聖域です。



パントリーの
ある暮らし

食料や飲料などを収納する「パントリー」は、買い物はまとめて週末に…という働くママのお役立ち空間です。



家事動線が
シンプルな暮らし

住む方にとって重要な家事がスムーズにいくように、間取りから家具の配置も想定して動線が確保されるプランニングをします。

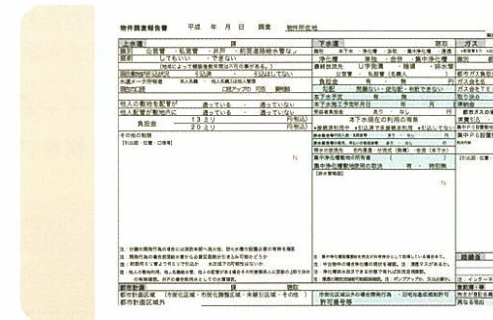


子どもが
スクスク育つ暮らし

階段を降りたらすぐに「おはよう」が言えて、ママの側で宿題ができるカウンターがある。家族の距離が近づくアイデアをご提案します。

暮らしに無くてはならない住環境をよりよくするために、安全・安心で夢の空間となる家づくりを追求します。

2 住宅診断の実施



今ある住宅の状態を的確に判断して、次のライフプランを考える材料として頂きたいという思いから、住宅診断をスタートしました。

住宅の周辺環境や安全性、耐久性などを薬10項目から調査し、資産価値を見極め、新築やリフォームなど、今後の活用の可能性をご提案させていただいています。

有資格

- ・既存住宅状況調査技術者
- ・木住協リフォーム診断員

3 工事現場における安全衛生活動



安全に施工を完了し、お客様に満足頂く住宅建築を行うために、工事現場での安全衛生活動を推進しています。その日の作業内容に応じた危険予知を行ったり、現場の5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動を奨励することで、危険の排除と気持ちの良い作業環境づくりに努めています。

安全な状態を維持することは最優先事項と考えます。46期は更なる安全環境の向上を目指し、活動項目を見直し取り組んでいきます。

4 地域における住まいの課題解決

当社が加盟している水巻商工会の「お住まいなんでもおまかせ隊」の活動に参加しています。地域のお困りごとを地域の事業所に安心して任せていただけることを目的としたこの活動も、約10年間継続させて頂きました。

「お住まいなんでもおまかせ隊」出張件数

8件 (44~45期)

VOICE

不安をなくし、楽しみは増幅して実現するように

「住まい」の買い物は人生でそう無い出来事であり、楽しみも不安もあると思います。抱えている不安はCSR活動で払拭できるよう、改めて活動の重要性を認識した上で積極的に取り組んでいきます。

また「楽しみ」は、私自身が見て触れて体験した事をお伝えすることで、お客様のワクワクや安心に繋がり、想いの詰まった住まいを実現できるよう努力していきます。



建設事業部 古賀 美香



FOSTER THE PEOPLE

やさしくつくしい「人」を育む

1 人財育成プログラムの構築

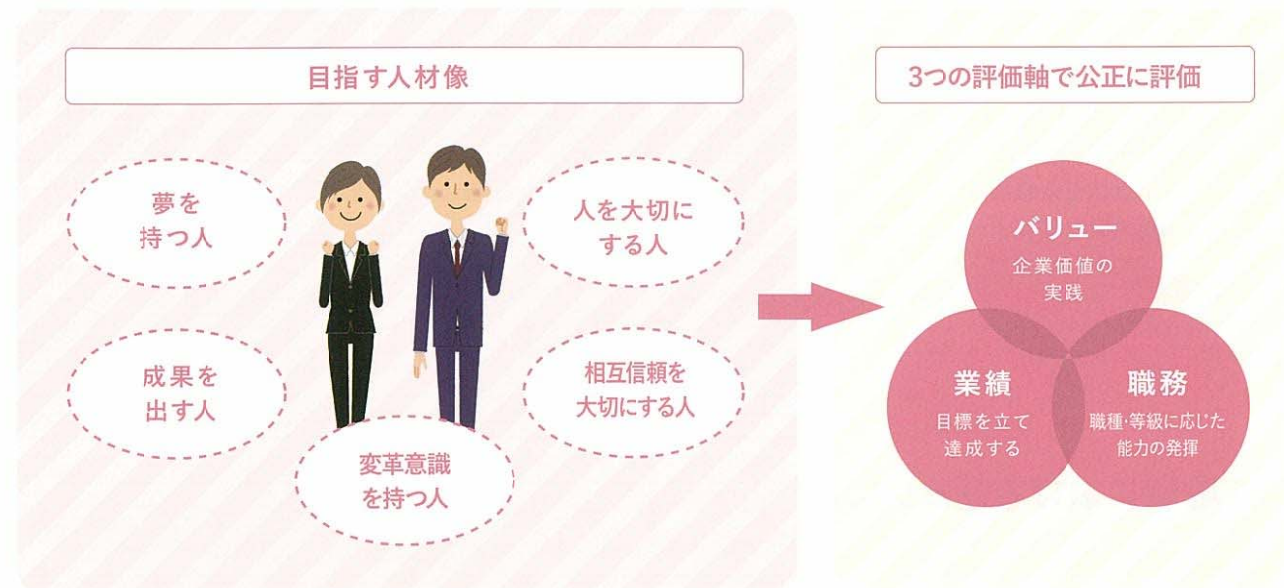
当社の重要なステークホルダーである社員に、自らの人生設計をこの会社で描き実現していけるよう、新人事評価制度とそれに基づいた教育体系を整理した人財育成プログラムを構築しました。約1年かけて構築したこのプログラムは、当社の大切にしている考え方・理念を再度整理し、多

様な事業領域も加味しながら目指すべき人財像とそのための各種評価軸に見える化しました。

46期は、人財を育てていくための教育に力を入れていきます。OJTとOFF-JTをうまく取り入れ、職務に応じた教育プログラムを構築していきたいと思ひます。

人事ポリシー

野坂建設株式会社は**明朗に働く人**を大切にします。



VOICE

仕事を通じて学び、成長し、より良い人生を歩む

どんな仕事にも「人の役にたつ」という目的があると思います。私たちは、お客様の要望に応えることでその目的を果たすために、日々様々な知識や技術を学び、身につけていく必要があります。人財育成プログラムでは、その方向性がわかりやすく表現されました。

お客様の要望に応えられたときは「ありがとう」というお声を頂きます。それは一番の喜びであり、一番自らの成長に繋がります。この認識をみんなが共通で持ち、みんなで広く皆様のお役にたてるよう、学び続ける組織づくりを行っています。



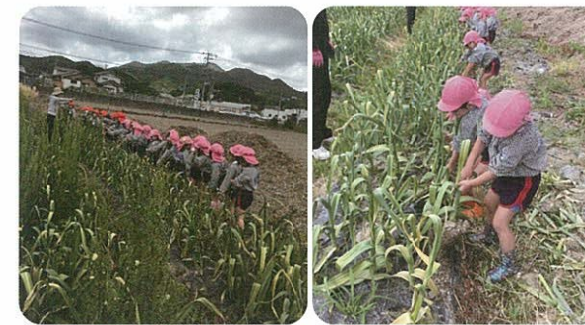
未来デザイン室 渡邊 美穂子

そのまち・くらしを形成する重要な存在が人です。
いきいきと暮らすために人財教育に力をいれていきます。

2 次世代の育成

地域の次世代を担う子どもたちに、当社事業領域の体験を通じて新たな発見や学びを得て頂ける事があればと感じ、様々な形で協力させて頂いております。

幼稚園生 にんにく収穫体験



海老津幼稚園の園児に、とき爺ファームで栽培しているにんにくの収穫を体験していただきました。育てているのは「水巻でかにんにく」で、一般的なものの約5倍の大きさです。当日は約120人もの園児たちに参加して頂き、一生懸命に引っ張り収穫している姿が見られました。

小学生 環境教育



えぶり小学校と伊左座小学校にて環境教育を実施しました。自分たちが出すゴミはどうなっていくのか、収集する車への投入や、ごみの分別の重要性をお話させていただきました。最後は環境のためにできることを一人一人に書いて頂き、普段の生活から環境活動ができることを学んで頂きました。

中学生 キャリア形成サポート

水巻南中学校の進路学習「職業講話」に参加させて頂きました。当社の事業である建設業と廃棄物処理業を中心に、どのような仕事なのか、業界の中でもどんな職種があるのかなど、その中身をお話させて頂きました。また、職場体験にも来て頂き、実際の作業に触れて、将来の職業選びに繋がればと願っています。





DEEPEN THE RELATIONSHIP

やさしくつつくしい「繋がり」を深める



1 地域清掃活動の実施

当社の事務所がある北九州地域並びに遠賀地域の清掃活動を行っております。ゆめ環境の周辺道路の草刈りや側溝清掃は毎年行い、当社でリサイクルさせて頂いております。また、北九州本社の周辺道路や遠賀川沿いの地域清掃活動にも参加させて頂きました。

この地域で事業をさせていただけることに感謝し、今後も継続して行います。

3 警察機動隊訓練の協力

福岡県警察第二機動隊 第二中隊の災害現場等を想定した救出に関する訓練場所として当社リサイクル施設利用いただきました。また、後日に感謝状を頂戴しました。有事の際の重要な訓練に協力させていただいたことに感謝いたします。



2 地元イベント協賛

毎年8月に北九州本社近隣で開催される『高須夏祭り』に協賛しました。北九州本社の社員を中心に、会場の設営や後片付けをお手伝いと、暑い中を少しでも快適に過ごして頂くためにうちわを提供させて頂きました。

地域活動を通じて普段とは違う形で地域の皆様とお話ができることに社員も喜びを感じています。



地域に寄り添い笑顔あふれるまちを創造するために、人と人の繋がりを深めるきっかけづくりを行っていきます。



4 花あそび教室の開催

暮らしがより豊かになればとの思いで、「花あそび教室」を開催しました。毎回テーマを設け、季節に合った植物やクリスマスやお正月などのイベントに沿ったプログラムなど、多くの方にご参加いただきました。また、近隣の方に多数ご参加いただき、この教室が皆様との交流の場にもなり、社員も会話が弾みました。

5 ステークホルダー感謝祭の開催

ステークホルダーのおかげで野坂建設が存在していることから、日頃の感謝の気持ちを伝え、よりよい関係を構築していくことを目的に、「ステークホルダー感謝祭」を2016年より開催しております。2017年10月8日に開催した感謝祭では、お客様や当社と共に歩んで頂いている協力会社様、地域の皆様など、80名もの方々に参加頂きました。社員が出店で料理を振る舞ったり、ジャグリングやビンゴゲーム等の催しにも皆様と一緒に盛り上げることが出来ました。

皆様と直接対話できる貴重な機会としても、これからも感謝祭は継続して開催していきます。

来場者数

80名



VOICE



環境事業部 原 浩司

積極的に地域への感謝を表す。

地域との繋がりを深めるために、地域で開催されるイベントやボランティア活動などには積極的に参加しています。また年に1回は地域の方々を含む、ステークホルダーに向けての感謝祭を行って

おり、喜んでいただいています。私たちが事業を行うこの地域に感謝し、もっと貢献できるよう、これからも活動していきたいと思っています。